関東を主とする酒造関係資料雑纂

名酒造様悪酒直様 煮元傳

七七

861
80
1

七十七

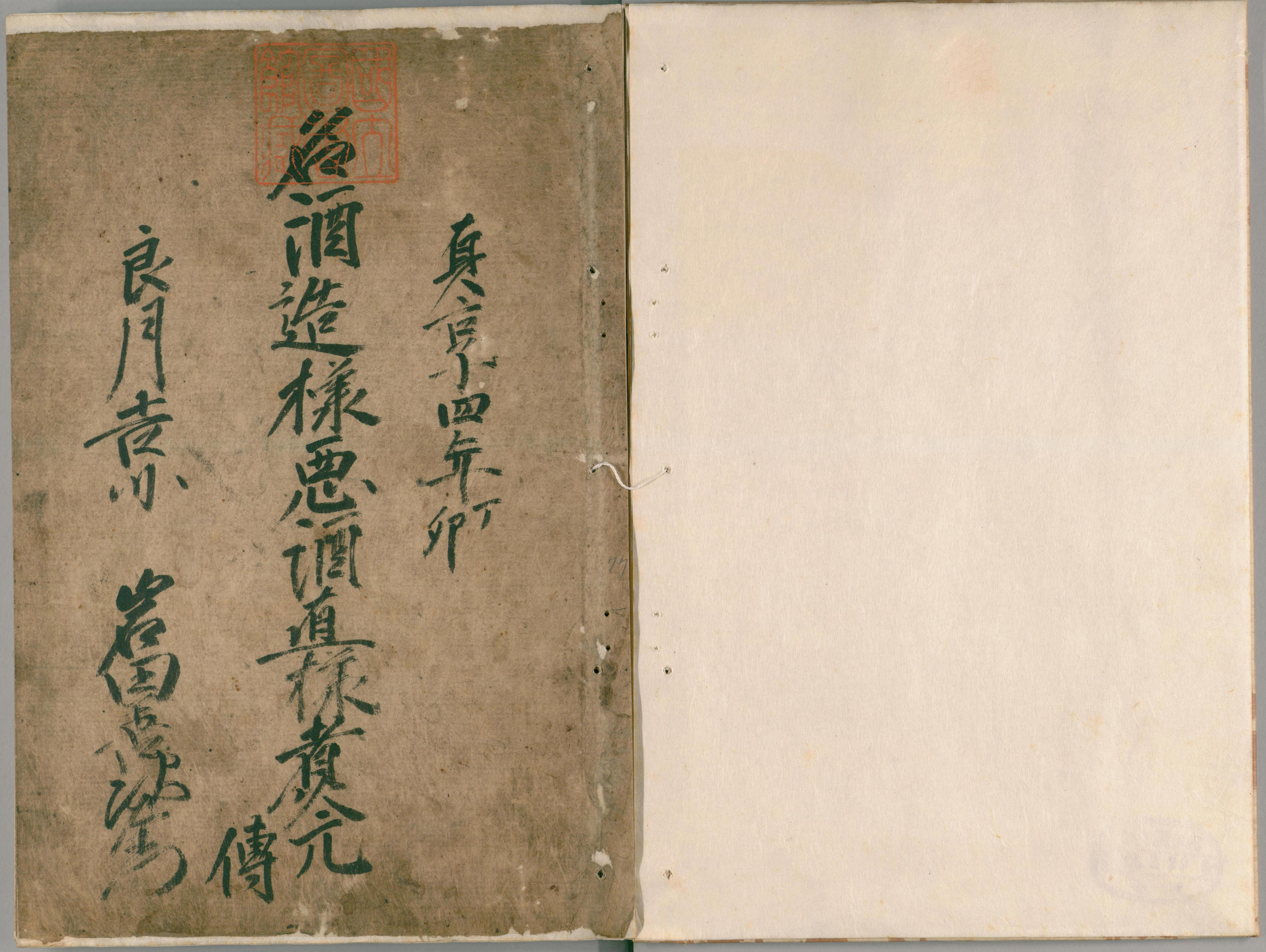
国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1

ガラス使用

立圖書館
昭 24. 3. 29 和
寄贈

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1

ガラス使用



真享四年丁卯

酒造様悪酒直様煮元傳

良月吉小

岩田[illegible]

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1

ガラス使用

一酒呑口也愛亦酒能なれも薄酒てたのきり
如意シ

一酒壹石計ひやのまゝ麁うたいひの物を
去り細よ壹石につけ
石計色て茶茶壹斗程入八分粉よ
さしし布袋入口をいりとくり石之酒の中
ふり出し其のまゝ色又石之酒ニヨロ粉少出け
あらまゝ書こゝの大豆沙米哈わけんなるなり
其のまゝ色入てよし又石之酒あまりなるを
壹ゆらうゝ二斗入ル入瞰を石之茶一同入しなるめ

77

諸白いつまでも酒ねかし事

一 酒壱石ならしいきかん金糀あかにとり摘入ニ
ふたをして壱あく入合分ほとはかりて壱升ほと
またはなくふそしあつくいりて其上をさらへ内入
口をはり六七日め酒せ々しく吉日をさり酒
壱石ニ石之壱斗五升わりさしめ其上を之を酒入水
むらくい九月三色粉を入て是を詳入文六酒
能わせ細々寒入そくかきく合八月のうちへ三
四月めニ能をあけし二三度ハ出かりと上ケし

夏酒造様并酒造様之事

一 早入壱斗のこうしをたしこミ其けた合あら諸味
六升をとうすくしあくいりあわせをを玉ニ入れ糀
かき合是より其時〻にこ五升ニ六斗五升
そくい 壱合かんさしと五升の摘をあ細ニ
入かき合 ム時々のせうちく八升ゟ壱斗五升を入
かき合 八月のうち百日めニあけし治冬中
あけし せうちく入をし能し

三月ゟ七月迄ノうちけ申掛し事

一酒壱石ニ付かん分ぬるく火を入桶に入分さましてて
釜あく入倉ニ分米うけたる壱升内其あと右様ニ可入
其入上下によくかきあはせ候時よく
日光布ニ定入麹三枚并一たんぶんニをあらい
其のみをしぼりわけ酒入口を如斯より
九りめに又八十入めニ升り前此時ハ酒壱石ニ付
種入麹たいたい壱合又にろけい八下
詮をふるいまぜて壱升
酒ハ中より取出し太らめに俵入袋此時袋に
入時せうちう四升入たるし

太事酒造

一あまにとかく口に造壱石にいや上白の
ち半米壱升并麹并殘かなかん分ハ上々邊て
酒袋二つ入口をもりくとて酒中にたへし
ちへいりめに此時酒のせうきしそうかへてさ
次入
一清酒ハわかみ出てみ出乃香をし極上
酒出入合壱木にをかんすしてのせうかいなる
守合酒袋れにとそふさうしの袋々口如斯

くるを行ハ法之不袋をくるを付六下をかきこと
三月ゟ四月ゟ袋取し

一 かゝ口をあまさ出し扱ひ酒を石いのまゝ
さらさらいれ粉ましこゝ各も一合前金銀
花ゟ五粉まして袋に入ちゝめたし七ちゝめなり
何まくなりかし

本来日付扱事

一 三歳とそやうこゝいいの事 詳書とそさう
なしいの事 沙色にしして吾人吾来

吾師各有と桶の口ならう時もあるに入かき合
時もあるのまゝ人 仲同所を四度もかゝを
入れ所ハ鬼ゆ宮人吾所に四つも如も入れしを
なり鬼ゆそ吾ゆうちう乃事しなり吾
ちうをてハ七合ゟ火を吾ゟも入れ合ゟ
ゟ事酒是を稱里酒之事也

一 くらなし色能を二指四粉ましてなり
なのなし吾師用て みそ計のことくまなり
なのなし吾斗吾師之間石くらなし酒袋
入ゆり出し 六日のもち来六所六日のもち来

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　ガラス使用

志入二四日より夜無為にて年々如夜出月右之通

八ちん酒

一せうちう粗なるあし毋しとく三百の糯
四斗ふりしさまし糀の苑かけ五斗
糀そうなくいか雜糸粉少して少
けい豆粉毋して酒うまくいか糸粉
毋して相用造込わき食苑より十八分之
六分しかいまゝ入しかくのゝ上げまゝ也
口をとる右十八分かゝ水かめ上げし

あるも見志ア諱

一元の仕組常の酒のことく八月九月合賞
元也雲り指りしかゝ元但六分六分
なり造米あらし米元ゝ米よく苑の
あらうよくし六合あらしゞ造る斗名造
目かけ酒造へとく今年元ゝ元流言
苑かゝ以ル部分中流苑より明ルかゝ米
うるあるを但つきふしを苑ゝ但斗高ゝ
ふりし苑仕回の造かけ同業の木は

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

もし入じ人みなかのかしさ申しまゐらせ人をさ申しまゐらせ入じ造ハまゐらせ
さ申しじ長の間ハ人みなかしこも造ハ
にまゐらせ三ヶ所のぬくさ造ハ無沙汰
まゐたまゐらせ造じ極右口ハ皆
かゝらはれ造ハ

一諸白之七事客ハ雑七事夏酒月之元の
口風味よきやうに造ふべし火二度も後
入之義

一あまゐの法撮右之色にかりかゝいて右之元の
あるも二日程へたる方の程あるも出て
方なめ程ハ元ひ忘たゝ事極となり一ハ
十一月十二日元かゝしけ元ハ撮ハ
元をかきさせし今日私の五時分ニ稀ハ
本ふたをしけ明るちかゝめしもし
食むせてざるを食のあくいきをさ沙汰
さめるさせし程一ツしきも六ヶ一重ニ好込し
掛りさ申し人肌ましけ右ゝ成
程つゝみ一日やまゐも撮じ合口ハ撮ハ

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　　ガラス使用

又極傳

一 白酒仕込の時諸味飯麹ニ泡たまりて
少シ之をさましこしきたより
入れざる也生物中ニ而所ニ壹尺一日
二夜程もさましむしろにて掛
ヶ置ハ味よし

一 水酢仕込四升仕込ニ一四ヶ五ヶ六ヶ七ヶ度より
添九月末ニ六ヶ七ヶ十ヶ日目之水郷ニ加減

此時生物の内をよく麦たゐて好き
ざる物の出生物の内より濾し
此時さる也所ニ合生中之縁也入
入而其某事より水生さる取
見の紙ふりし也ニ之入迄
物紙ざるふしこし元結し入此時
稀年四升水加へし此内

一 飯を加減九月末ニ人肌ならぬ加減之

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1　ガラス使用

なる見へさるすいけ田ニ[illegible]ばかりになるも
一ゑりの[illegible]まゐりまゐいしゝ又[illegible]事しゐ諸
きるとこゝのきるニ[illegible]稲もあるかあひ也し

あるとき撰造拵ゝ口傳

あるとき撰造拵ゝ口傳家ゝ[illegible]なるゝいゑ[illegible]
造ゝ[illegible]拵ゝ[illegible]酒と[illegible]撰造拵
一八年元[illegible]拵ゝ拵あるとき[illegible]ず[illegible]

[illegible]程ゝ[illegible]ゝみず[illegible]水かゝし
[illegible]しめし[illegible]
元[illegible]人[illegible]中[illegible]
[illegible]
[illegible]事[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1　ガラス使用

19953

小倉遊亀

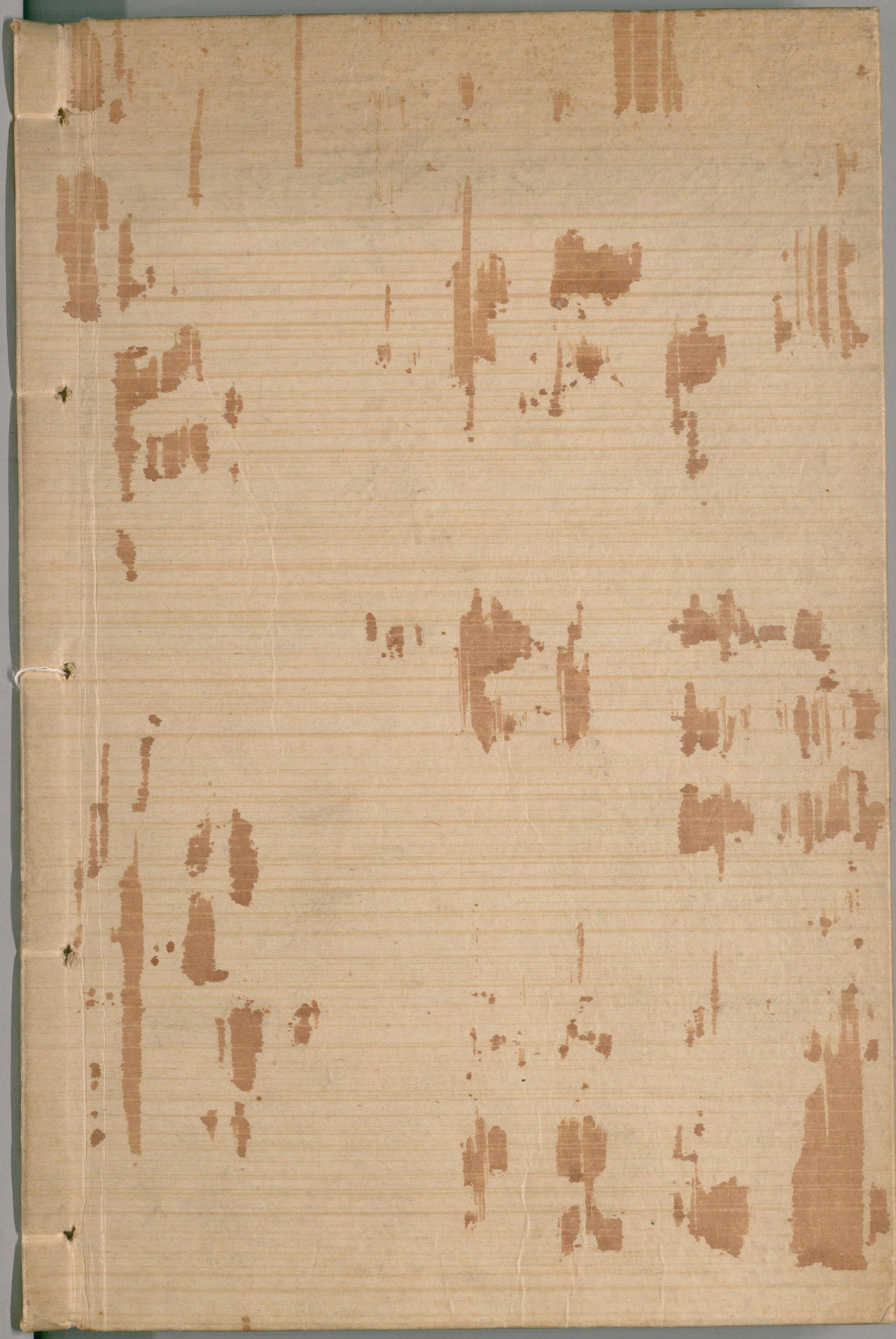
国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1

ガラス使用

861
80
1

国立国会図書館　　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』　請求記号 861-1

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『[関東を主とする酒造関係資料雑纂]』 請求記号 861-1

ガラス使用